

「第64回岐阜新聞大賞」決まる

平成25年度「第64回岐阜新聞大賞」を次の5氏と1社に贈り、表彰します。学識経験者らによる選考委員会(委員長・森秀樹岐阜大学学長)で慎重に審査、その答申を受けて決定しました。受賞者には、春慶塗の表彰楯とクリスタルトロフィーを贈り、その功績をたたえます。贈呈式は2月15日午前10時から、ぎふチャンテレビスタジオで行います。

学術部門

岐阜大学大学院教授

江崎 孝行氏

無芽胞嫌気性菌の遺伝子を使って分類体系を新たに構築。国際微生物連盟でも微生物分類命名委員として活躍。日本学術会議連携会員。病原体の遺伝学的定義を決定する手法の開発およびヒトの感染症に対する安全を担保する社会基盤構築に目覚ましい功績を残す。

岐阜薬科大学教授

古川 昭栄氏

ローヤルゼリーの中に神経系に作用する新しい分子を同定。蜂産品のいくつかの効能について、分子レベルでのメカニズムを解明。有効な医薬品創製や、蜂産品産業界の活性化と地域の発展にも寄与。

産業部門

日本ガード株式会社名誉会長

不破 利兼氏

30年近くにわたって県内警備業界のリーダーとして業界の健全な発展に尽力。県や県警本部との連携を深め災害発生時における支援事業や地域安全活動、青少年の非行防止や健全育成に寄与し、業界に対する県民からの社会的評価や信頼を高めた。

岐阜新聞大賞

1950(昭和25)年創設。学術、教育、文化、産業、社会事業など各分野の発展に貢献した個人、団体、企業に贈ります。今回を含めた受賞者は495人、3企業、19団体となります。

農業・林業部門

岐阜県農業協同組合中央会会長

岡田 忠敏氏

J Aめぐみの誕生と県内J A合併5構想の進展に多大な貢献。県中央会会長として県内農業の発展、地域活性化とJ Aの経営基盤強化を推進。管内の全市町村と災害時の相互応援協定を結ぶなど組合員や地域住民から信頼されるJ Aづくり、安心して暮らせる社会づくりに尽力。

匠部門

株式会社

高峰楽器製作所

「パラスティック・ピックアップ」は、コンサートが大規模化する中、音響装置を通じた美しいアコースティックサウンドを他社に先駆けて実現。世界ブランド「Takamine」を確立。「ふれあいコンサート」を開催し地場産業への理解にも大きく貢献。

社会事業部門

木沢記念病院理事長

山田 實紘氏

社会医療法人理事長として、最新医療の導入を積極的に推進し地域医療の充実を図る一方で、ライオンズクラブ国際協会の国際理事、本年度は同協会の第二副会長に選出され、今後、第一副会長を経て日本人では2人目となる国際会長に就任することが事実上決まっております。ますますの活躍が期待されている。